

～大人いきいき 子どもすくすく～

コミスク

令和4年度からすべての学校でコミュニティ・スクールへ



令和7年12月12日(金)

第7号

小美玉市教育委員会生涯学習課



おみたんスクールが、昨年度以上にいろいろな体験活動が増えています。学校内に加えて、学校外での学びも充実してきています。

地元企業や地域の方のおかげで、豊かな体験をすることができています。さらに、中・高・大学生や地域の方によるサポーターも大活躍しています。



折り紙建築体験 10/26

納場小コーディネーター磯部公一さんの企画による「折り紙建築体験」を実施しました。一般社団法人茨城県建築士会石岡支部様にご協力をいただき、ぺんてる株式会社茨城工場様からは参加した子どもたち全員にクレヨンをプレゼントしました。



ぺんてる様から提供



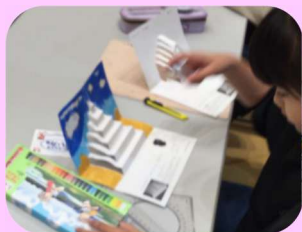
みんな真剣



紙が立体になっていく驚き！



高校生・大学生サポーター大活躍



磯部 公一さん
参加された子ども達の真剣に取り組む姿にふれ、また高校生や大学生のサポートもありとてもわくわくした機会になりました。
折り紙建築を通して、作る楽しさに興味を持ってもらえると嬉しいです。

参加者の感想

工作が大好きなので、今日をとても楽しみに待っていた息子です。娘は参加をしぶっていたのですが、いざやってみると、とても楽しく、集中してやっていました。初めてのカッターでしたが、とても上手になりました。「切って折るだけで、こんなに立体的になるのがすごい!!」と言っていました。普段こんなに本格的な作業はできないですし、建築士さんたちと交流しながらの活動は、とても良かったです。子どもたちも「まだ帰りたくない」と大満足でした。



おみたんスクール 「折り紙建築」
主催 小美玉市教育委員会 生涯学習課
共催 一般社団法人 茨城県建築士会 石岡支部
協賛 ペンてる株式会社 茨城工場

小美玉クイズ

問 2024 年(令和 6 年)11 月に、小美玉市で生産される優れた農産物をブランド名「小美玉の〇〇〇」として認定しました。〇〇〇に入る言葉はどれでしょう。

A たから

B ひかり

C めぐみ

答え→



2次元コード

「小美玉市のコミュニティ・スクール」については、右上の2次元コードをご覧ください。

裏面につづく

3年連続！全学校で夏季交流会を開催

先生と地域の方が顔の見える関係

各学校のコーディネーターが中心となり、すべての学校において夏季交流会を実施しました。

※コーディネーターとは、学校と地域をつなぐ役割を担う地域の方のことです。



小川北



納場小



羽鳥小



堅倉小



美野里中

～先生のご感想～

- ・地域の方が、学校に協力してくれていることを改めて実感しました。今後も地域と学校の協力を継続していくことが大切だと思いました。
- ・以前の研修とは違ってお互いの立場から地域の方をお願いしたい内容や効果的で助かっていることなどを直接伝えることができて良かったです。



玉里学園

～地域の方のご感想～

- ・先生方からの支援の要望は様々で、内容も多種多様です。地域の方々が持っている力をつなげていければと考えています。 美野里中 皆川 早苗コーディネーター
- ・参加した交流会は、活発な話し合いが行われていました。学校と地域の関係が、さらに深まったように感じました。 小川南小・中 小林 恵美子コーディネーター



小川南小・中

交流会で、先生方と一緒に段ボールベッド作りを確認しました。



竹原小



ピックアップ 各学校の「防災フェスティバル」

夏季交流会が先生と地域の方で話し合う場となり、防災フェスティバルの活動内容の充実へ
各学校に応じて、PTA・学校運営協議会・コミュニティ・子ども会育成連合会の団体と共催して実施へ

竹原小学校

学校運営協議会の久米一彦会長が実行委員長を務め、今年度が初開催。縦割り班によるグループ活動で防災体験(防災すごろく・防災 VR・AR 体験など)に挑戦した。また、併設するよつば幼稚園の年長児も参加した。



VR・AR 体験



教室での煙体験



防災すごろく

学校運営協議会
会長 久米 一彦さん
子ども達の縦割り活動と地域の各団体の支援が上手くマッチングした竹原スタイルが発揮できました。来年は、さらにバージョンアップしていきます。

玉里学園義務教育学校

PTAの菊地かずな会長が実行委員長となり、2年目の開催へ。学年ごとに様々な防災体験を行い、今回初めて地域の元消防署員が講師として体験学習を指導したほか、8～9年生が下級生のサポートへ。



救急体験



防災かるた



けがの手当て

生徒会長 戸田 莉心さん
防災フェスティバルへ込めた地域の方の思い知り、感謝の気持ちでいっぱいです。災害が起きたときの行動について深く考えることができました。

小川北義務教育学校

さわやかな野田をつくる会の高野晴夫会長が実行委員長を務め、令和5年度から実施へ。今年度は7～9年生も防災活動に参加できるよう内容を拡充し、縦割り班で防災体験を行った。また、人文字作りや土のう運びリレーなど、協力する活動も実施へ。



救急体験



土のう運びリレー



人文字(ドローン撮影)

PTA 会長
長谷川 正幸さん
縦割り班単位で行動することで、たくさんの企画から優先順位を決めて自主的に体験してもらうことができました。

堅倉小学校

学校運営協議会の白井福夫会長が実行委員長を務め、4年目へ。今年度は「家族」をテーマに、学年ごとに2種類の防災体験を行った後、親子で14種類の体験ブースをスタンプラリー形式で巡り、災害時に必要な知識や行動を楽しく学んだ。また、美野里中生(12名)もサポーターとして大活躍した。



中学生サポーター



ロープ渡り体験



VR 重機体験

美野里中 郡司 ふうかさん
中学生サポーターとして参加したことで、さらに地域の方の温かさを感じました。堅倉地区に生活できることを誇りに思います。

おみたんサマー スクール

おみたんサマースクールでは、教室編「夏スタ Let's study」「イラスト体験」、体験編「マイ箸(はし)作り」「アイスクリーム作り」と2つずつ行いました。4つの講座で、約 100 名の子どもたちが参加しました。

「夏スタ Let's study」 7/26



子どもの感想

- ・大学生が学習を教えてくれて、とても勉強が楽しくなりました。
- ・勉強のやり方や笑顔で教えてくれ、とても勉強が前よりは好きになりました。クイズがあって楽しかったです。

教室編



大学生・地域の方が優しくサポート

「イラスト体験」 8/3

講師 京川 誠 様

参加者の作品



子どもの感想

- ・先生たちがとても優しくかったです。おみたんを描くことが今までなかったので新鮮でした。
- ・みんないろいろな絵があってみんなの世界が広がっていて、とてもすごかったです。



京川先生、高校生・大学生・地域の方

「マイ箸(はし)作り」 8/9

講師 いばらきコープ 様、県央農林事務所 様



子どもの感想

- ・かんなを使う体験はあまりないので、いい機会だなと思った。
- ・普段できないような体験をすることができた。ヒノキの良いかおりがした。

体験編



箸の使い方競争も実施

「アイスクリーム作り」 8/30

講師 おもしろ理科先生 稲野辺 滋 様



子どもの感想

- ・稲野辺先生がいろいろ教えてくれて、アイス作りやブーメラン作りや実験をやってとても楽しかったです。
- ・バニラアイスをもっと食べたかったです。



中学生・地域の方がサポートへ

バラの実験